NPO法人
堺観光ボランティア協会ニュース
1月号（通算272号）
2020年（令和２年）１月１日発行

発行所：NPO法人 堺観光ボランティア協会
理事長　　川上　浩
〒590-0077 堺市堺区中瓦町2-3-29
（瓦町ウエノビル4F）
Tel & Fax ： 072-233-0531
e-mail：sakaikvk@axel.ocn.ne.jp
URL:http://sakai-kanbora.org/

明けましておめでとうございます。会員の皆様、また日頃からお世話になっております関係各所の皆様とともに、令和になって最初の年を新たな抱負や希望を持って、穏やかに迎えることができましたことに、感謝申し上げます。

2019年は、7月に百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産に登録され、アゼルバイジャンでの決定の瞬間をパブリックビューイングで、堺でも同時中継されました。その会場のフェニーチェ堺が、10月にこけら落としされるなど、堺の観光にとって、飛躍を望める大きなターニングポイントの年でした。その予想通り、定点ガイドのご案内人数や、ツアーガイドの実施件数とご案内人数も新記録に向かって進捗しています。それと同時に協会発足以来、ご案内人数実績が250万人に達しました。

今後も「TOKYO 2020」「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催に合わせて、多くの観光客が堺にも来られます。来訪される方が古墳に集中している今が、堺観光発展のチャンスであり、堺のまちづくりの良いタイミングです。堺観光ボランティア協会にとっても、「堺は古墳もある町」であり、古墳だけがアピールポイントではありません。古墳を見学に来られたお客様に、古墳以外の堺に魅力を感じて頂けるご案内が必要です。

最近、古墳には地元の方や子供たちが多く来られています。他府県や海外からの多くの来訪者を見て、古代の遺産が地元の人たちの誇りになっているのが顕著にわかります。大人の人たちには、市民としての自信が生まれ、子供たちには、未来へとつなぐ人材になってもらうための、シビックプライド醸成を担うのも私たちの使命です。

2020年は十二支の子年にあたり、「増える」という意味や、「草木の生命をはじめとした命が誕生しようとする」という意味があるそうです。協会も新しい動きや、新しいものに気づき、更なる進化を遂げる時です。それには、効率的な活動手法を開発し、過去に捉われず実行していくことが肝要です。「会員の体力消耗の軽減」を諮りながら、粗くないご案内の積み重ねと改良、そして会員全員が、先輩の方々から引き継がれた思いを真摯に守り、使命感を持って挑戦することが将来につながる事と信じます。

また、最近感じられることは、時代の流れが速く、過去の実例とは合致しないスピードと変化で、「あの時はこうだった」が通用しないことが多々あります。お客様の数が増える事に比例して、お客様から発せられるサインは増加しています。楽しくご案内するのは良いことですが、お客様が不快に感じるようでは意味がありません。節度ある行動と言動を基本にした協会活動を目指していきたいと思います。

それぞれについて柔軟な感覚で、NPO法人堺観光ボランティア協会が、この一年を将来につなげる飛躍の年にして行きたいと思うとともに、「観光ボランティアは堺の宝」と言われ続ける協会でありたいと願っています。

最後になりますが、当協会員の皆様、そして関係各団体の皆様、そして皆さんを支えて下さっているご家族の皆様のご健勝と、ご活躍を祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

理事長・川上　浩

事務局 ニュース

◆ 運営委員会 報告

・2019 年 12 月 3 日（火）14 時から堺市総合福祉会館にて開催。

『理事長報告』

① 「2020 年春季文化財特別公開（案)」について

・日程は、3 月 27 日(金)、28 日（土)、29 日（日）の 3 日間。
・テーマは、物語性のあるイベントとし、人物や出来事に焦点を当てたい。
・例えば、NHK 大河ドラマなどにあやかる文化財を探し、それを中心とした案内をするなどを考えたいという意見がでた。
・特別企画や連携企画を含めて、12 月下旬には決定したい。

② 「大仙拝所前の土日祝案内方法のトライアル」について

・12 月前半に、拝所前定点ガイドの案内方法の新しい手法についてトライアルをします。目的は、来訪者へのサービスの一層の向上、ガイド担当者の疲労低減を図る、繁忙期の４人配置を常時３人で配置することによる必要人員減など。

・急な試みだったので、当日の配置担当者が充分に理解しないまま実施した。
・団体が少なかったので、トライアルを評価するにはサンプル数が足りない。
・定点ガイド部では、今までいろいろな方法をシュミレーションしてきたので、事前の説明が必要だった。
・時間に縛られている団体には効果がないのでは。

※ 良かった点、問題点、今後の課題がある程度抽出できたので、次の繁忙期までに更に良い案を検討したということで、トライアルは終了した。

☆ 1月号 インデックス（目次）

巻頭言「新年ご挨拶」	P1	定点ガイド部	10
・インデックス(目次)	2	広報部	12
＜各部ニュース＞		J:COM 予定・ｲﾝﾌｫﾒｰｼｮﾝ・便利ﾒﾓ	13
事務局	2	あ・ら・かると 1「同期会勉強会」	14
総務部	4	あ・ら・かると 2「ガイド豆知識」	15
研修部	4	トピックス 1「大洲史談会来訪」	16
ツアーガイド部	6	トピックス「会員交流会・神戸」	17
事業部	7	イベント報告「竹内街道・まつり」	18
企画部	8	【2020 年 1 月度月間予定表】	19
		〔2019 年 11 月 活動実績と内容〕	20

事務局 ニュース

★ １２月度配置状況

・12 月度の欠員状況 39 ポスト。ツアーガイドも必要ポストが 155 ポスト
・全体では、落ち着きを取戻しているが、引続き厳しい状況
※ 活動予定表：未提出の方が 19 人、対処に苦慮している。

★ 「堺観光情報連絡会」の報告

①最近、堺観光割引タクシーへの苦情が相次いでいる。
・観光コンベンション協会も、制度の見直しが必要とのこと。

②堺観光ガイドブック等の配架について
・ある配架箇所に旧版のまま配架されているところがあった。
・関係者が早々に撤去、差し替えを行う

③ツアーガイド用パンフレットの準備について
・ツアーガイドの激増でパンフレットの準備が滞るケースが発生しており、従来の観光コンベンション協会での準備に戻してほしい。
・担当部署と早速打合せをするが、観ボラからも問題点を提出してほしい。

④ＶＲの対応について
・ＶＲツアーのお客様への対応について話し合いを行った。

⑤大仙拝所前駐車場の掲示板について
・掲示されている仁徳天皇陵の写真が老朽化していて、お客様から指摘されるケースが多くなっている。
・行政としてもロータリークラブに働きかける。

※上記の内容について、意見交換や申し入れをしました。

※速報

協会創設以来、お客様ご案内人数が 11 月末で 250 万人に到達しました。

※ 運営委員会における各部からの活動報告は、各部門のニュース欄を参照願います。

◇ 各部門からの連絡・報告

総務部 ニュース

☆ 会員の状況

〈１２月１日 現在〉

正会員数 ２４９名・休会会員数 ６名・賛助会員数 ８名・総会員数 ２６３名

☆ 「活動交通費調査標更新」について

・確認のために会員各員の活動交通費について郵送、照会を終えて、個人別システムデータとして更新した。

☆ 「下期会費の徴収」について

・11 月に銀行振込の支給交通費から下期会費３千円を徴収しました。

・徴収できなかった方には、メールか郵送で請求書を送付し、納入依頼をしました。

☆ 「展望ロビー」が１月 11 日（土）休館します。

また、1 月 11 日（土）堺市役所の電気設備点検のため、庁舎内に立入りできません。

☆ 「２０２０年度 新年会」について

・2020 年１月 15 日（水）12 時～15 時、ホテルアゴーラリージェンシー堺にて開催。

・参加者の徴収額：2,000 円/人

・平服、名札着用でご参加下さい。

☆ 「3 連式協会領収証の使用」について

・書損は必ず 3 連で処理し、領収証が回収不可の場合理由とサインを記す

・再交付は、但し書きに NO.〇〇の再交付と記載。(書けない場合、理由とサインを)

・領収金額、宛名の修正は不可、書損処理をして再作成

・領収証発行者（ガイド担当者名等）を必ず明記

研修部 ニュース

☆ 「２９期生のフォローアップ研修」を行います

・趣　旨：昨年 7 月に入会した 29 期生が入会後 6ヶ月を迎え、先輩会員のこれまでの取り組んできた話を聞き、入会後の自身の活動を振り返り、今後の課題に向けて話し合う。

また、次のステップとしてガイドとしての認識を深めるため、定点ガイド部とツアーガイド部の協力を得ます。

・開催日時：1 月 28 日（火）14 時から、堺市総合福祉会館にて

※ メンター制で配属された部に留まるか、変更するのかなど確認も行います

☆ 「会員交流会」について

・会員交流会「神戸コース」を、11 月 28 日（木）に参加者 34 名で実施
・‘人と防災センター’‘神戸市役所展望ロビー’‘竹中大工道具館’‘北野工房のまち’を見学　（特に竹中道具館は、約 1 時間半のガイド同行解説で館内を見学）
・参加者からは「神戸は何度か来たが、今回の訪問先は初めてのところが多く、大変興味深かった」・阪神高速の工事日と重なったが、ほぼ予定通り催行

※ 12 月 18 日（水）の「岩出・紀の川コース」は、次号で報告

☆ 「マナー研修会」の開催

・開催日時：2020 年 1 月 22 日（水）　午後 2 時～4 時
・開催場所：堺東 東洋ビル 4 階第 7 号室
・講　　師：三好 美恵子氏（株式会社 FPMα ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｺｰﾃﾞﾈｰﾀｰ）が、ガイドのマナーのあり方を中心に
・川上浩理事長がトラブルの実例を紹介

＊会員交流会《神戸コース》に参加して　【荒田　庸子】

少し寒く、時々小雨が降るというお天気でしたし、阪神高速湾岸線が工事中で神戸に到着する時間が予測できないという状況でしたが、時間通りプログラムがすすみ、内容の濃い充実した交流会でした。

＊「人と防災未来センター」

まず始めに４階の暗いホールで、でこぼこの大画面に大音響で阪神淡路大震災の衝撃が映し出され、「あの時」のことをまざまざと思い出しました。そして胸が苦しくなりました。あの頃、私は避難所となったある小学校にお手伝いに行っておりました。見渡す限り家が崩れていました。私が避難所にいた日、空は見たことのないようなすばらしい青空でした。「地上ではこんなにひどい事になっているのに、太陽はいつものように輝いている、不思議だなあ」と空をながめていました。そして、与謝野晶子が関東大震災の時詠んだこの和歌をつぶやいていました。

「空にのみ　規律残りて　日の沈み　廃墟の上に　月のぼりきぬ」（歌集　瑠璃光　より）

そして、今回も私はこの和歌を思い出していました。「空にのみ規律残りて～」

＊「神戸市役所　24 階展望ロビー」

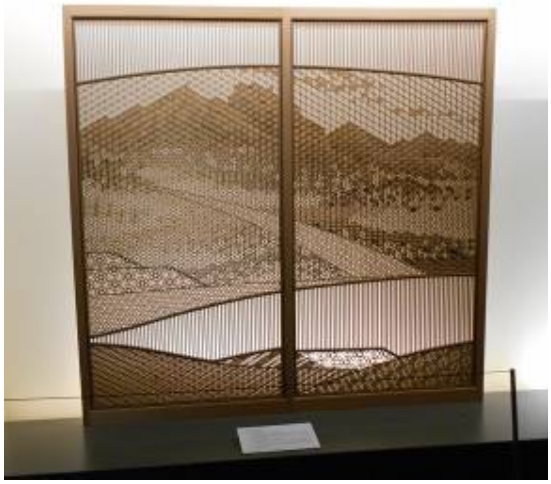
神戸市役所 24 階展望ロビーでは、地元のボランティアガイド「タウンガイドＫＯＢＥ24」の皆さんに案内していただきました。神戸市役所は、平成元年完成で、高さ 90ｍです。窓からは港やポートアイランドがよく見えて、どのビルも新しく復興の様子を確認できる風景でした。間近に迫った「ルミナリエ」の準備の様子もよく見えました。曇っていたので、堺方面をはっきり確認できませんでしたが、２棟のベルマージュ堺を確認した方がおられました。ただ、360 度展望で窓が大きく広々とした堺市の展望ロビーを見慣れている私には少し狭く感じました。

ちなみに、堺市役所高層館 21 階展望ロビーは平成２年完成で、地上 80ｍです。

＊「竹中大工道具館」

帰りのバスの中でみなさんの感想をお聞きしていると、「竹中大工道具館に行きたかったので、神戸コースに参加した」とか、「竹中大工道具館が、今回の見学先で１番よかった」と言う意見が多くありました。今はほとんど見ることのない墨壺、鋸、鉋などの大工道具があり、日本建築の構造がよくわかる展示でした。３班に分かれて、ボランティアガイドの方に 90 分間じっくり案内していただきました。ありがとうございました。

「山口家住宅」や「さかい利晶の杜」の茶室などにも参考になることがたくさんありました。



ツアーガイド部 ニュース

☆「第３５回 堺新発見ツアー」の開催
- “福徳寺の大護摩祈願祭”
- 集合：1 月 19 日（日） ／ 10 時に／ 泉北高速線泉ヶ丘駅

☆「１月の自転車ツアー」の開催
- “堺区の神社 10 社の初詣巡り”
- 集合：1 月 12 日（日）／ 9 時に／ 南海線堺駅 堺駅観光案内所

☆「阪堺電車勉強会」の実施
- 集合：1 月 29 日（水）／ 9 時 30 分に／ 阪堺線 大和川駅

※ 28 期生・29 期生が対象ですが、一度も参加されていない方も参加可です

☆「ぐるっと堺勉強会」の開催
- ツアーガイド部主催の「バスに乗車しての勉強会」
- 集合：2 月 12 日（水）／ 9 時 30 分／ 堺東「かに道楽」前付近
- 箇所：家原寺、華林寺、蜂田神社、土塔、高倉寺、観音院

※ 2 月度の活動予定表に‘〇’の記入を！　多くの方の参加を待っています！

★ 2019 年 11 月度ツアーガイド実施状況

総件数 ２０１件 ／ 案内の総人数 ６，１３７人 ／ 担当ガイド ３２８人

※ 「ガイド実施報告」と「小学校の実績」は、別紙で報告します

来月号からガイド実施報告書は、実績のみで感想の掲載はありません

＊水素カート走行実証でのガイド体験　　【小出　恵宥】

水素は二酸化炭素(CO_2)を排出しない、クリーンなエネルギーで、燃料電池は発電効率が高く、排熱も利用出来、エネルギー効率が高い。今回は、大仙公園内巡り（古墳など）。一周 25 分の設定で、時速 10 ㎞丁度で、乗り心地も良い。幅広い年齢層に利用でき、特に、身障者には喜ばれるでしょう。今後の走行実施に向けてのガイド体験が出来ました。

事業部 ニュース

☆ 各プロジェクトの活動

＜華美芝居部隊＞
- 12 月 14 日（土）善宗寺（NPO 法人 楽）で 11 月に続いて公演、大人 5 名、子供 5 名に
- 12 月 15 日（日）阪堺電車貸切車内で公演、医療法人 七ふく会の 29 名に
- 12 月 16 日（月）こども堺学サポーターとして東三国ヶ丘小学校にて、6 年生 3 クラス 112 名に仁徳天皇陵古墳について授業

＜音曲組＞
- 1 月 15 日（水）2020 年新年会にイベントで参加

※ 出席者の皆さんの飛び入り大歓迎！！

＜呈茶チーム「茶々の会」＞
- 12 月 21 日（土）堺市役所で「街道まつり」のキャンペーンにて、200 名のおもてなし！
- 1 月 18 日（土）妙法寺「北向道陳忌」にて、呈茶のおもてなし

＜ＪＡ堺市「CROP」＞
- 「北区東浅香山」を、12 月 8 日（日）に取材
- 「西区浜寺船尾町」を、11 月 16 日（月）に取材

＜鉄砲鍛冶屋敷調査＞
- 11 月 14 日（木）、21 日（木）「鉄砲鍛冶屋敷 俵蔵 1 階」調査作業へ参加
- 大筒 800 匁玉打ち 1 挺、大筒 500 匁玉打ち 1 挺、鉄砲台木多数、炭用炉、炭俵 3 俵、鍛冶用大十能、木箱大小多数、鉄砲台木削り用鉋、他多数

〔山之口商店街・事業部全般〕
- 山之口プラザは、年末・年始の為 12 月 28 日（土）から 1 月 8 日（水）までお休み

企画部 ニュース

〔学校連関連〕

★「秋季特別文化財公開」の参加

・府立堺東高校のボランティア参加は、参加日の連絡ミスがあった
・鉄砲鍛冶屋敷担当の皆さんにご迷惑をかけました
・その他の公開場所では問題なく終了しました
※ 次期公開でも高校より申し入れがあれば、受託する予定

〔広域連携関連〕

★「南海・歴史探訪ガイドウォーク」

＊11 月 19 日（火）広域連携歴史探訪ガイドウォーク実行委員会を開催
・2020 年度のタイトルと日程について打合せ
・タイトル「いろいろな街道・古道を歩こう」／当協会の催行日は、5 月 23 日（土）
＊11 月 30 日（土)、第 5 回「楠公ゆかりの地を訪ねて～楠公夫人遺跡の新たな発見・その秘話～」が、とんだばやし観光会主催で開催。参加者は 59 名

★「大阪・奈良歴史街道リレーウォーク」

＊11 月 9 日（土)、第 5 回「創建 1300 年国宝のある寺『栄山寺』と柿の選果場見学」が、斑鳩の里観光ボランティア協会主催で開催。参加者は 53 名
11 月 17 日（日)、第 6 回「花小路せせらぎの道を歩く」が、斑鳩の里観光ボランティア協会主催で開催。参加者は 53 名

★「美原まちデザイン広場」との連携

＊2020 年度活動計画について打合せ
・12 月 9 日（月）美原区役所にて、区役所企画総務課と美原区在住の協会会員：4 名及び OB：1 名が
①「地域愛の醸成による持続発展的な観光まちづくり」を目的に、美原区の再評価と発信を行うために、区役所と連携をとりながら進めるので協力を要請
②「地道な活動を通じて、観光資源を掘り起こしていく」を目的に、観ボラメンバーで自主勉強会を行うために、区役所のサポートを要請

☆「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」関連

＊2019 年度の大会ＰＲ活動の報告、大会参加申込み期間、観光（当協会担当）プランについて報告あり
・11 月 8 日（金）の堺市実行委員会の総務部・おもてなし部合同
・11 月 13 日（水）の堺市実行委員会第 4 回総会
＊関西組織委員会の決起集会が、11 月 19 日（火）に開催され、組織委員長、開催府県市の首長、大会アンバサダーによる決意表明がなされた。

【企画部ニュース】

＊「ワールドマスターズゲームズ(WMG) 2021 関西」決起大会

生涯スポーツの祭典「ワールドマスターズゲームズ(WMG)2021 関西」の決起大会が、11月 19 日(火)に大阪市内で開催されました。自治体や経済界などの関係者が参加し、当協会からは川上理事長と企画部 2 名が参加しました。

WMG は 4 年に 1 度の国際競技大会で、2021 年 5 月に関西を中心に 2 府 7 県で開催されます。陸上や野球など 35 競技 59 種目が行われ、堺市ではサッカーとフットサルの競技が行われます。WMG はスポーツを楽しむこと以外に、地元の観光スポットをめぐるのも醍醐味のひとつです。当協会では、大会を通じて来訪者に広く堺の魅力を PR すると共に堺観光を楽しんでいただける活動をして参ります。今後、具体的な観光内容を準備していきますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

全員で世界のお客様を「おもてなし」しましょう！　　(江川　栄一)

＊みはら歴史博物館「平成の梵鐘」を撞く

12 月 15 日(日)にみはら歴史博物館で講演会と鐘撞き体験が開催されました。

第 1 部は堺市博物館・須藤健一館長による博物館が持つ役割についての講演が行われ、第 2 部は博物館の敷地内にある「平成の梵鐘」の鐘撞き体験が行われました。

平安時代から室町時代にかけて、美原区域とその周辺を中心に鋳造技術者集団「河内鋳物師(かわちいもじ)」が活動していました。鍋や釜などの日用品を製造する職人達と各地のお寺の梵鐘や東大寺大仏再建など、大型製品を現地に出向いて製造する職人達との二つの集団が活動していました。

「平成の梵鐘」は地元の河内鋳物師顕彰会が顕彰の象徴と地域の心の拠り所として寄付を募って製作されたもので、高さ 1.2m、外径 70 ㎝、重さ 386 ㎏の梵鐘で平成 24 年に堺市に寄贈されました。

当日は家族連れを含む約 100 名の参加者が鐘を撞き、平成の鐘の音が令和の街に鳴り響いた一日でした。

(江川　栄一)

定点ガイド部 ニュース

＊「さかい利晶の杜」で開館5周年記念事業が開催されます。

・詳細は別紙を参照

＊「自転車博物館特別展勉強会」を2月4日（火）に開催します。

＊　自転車博物館サイクルセンターでは、2020年オリンピックイヤーに因み、1月5日～12月6日特別展「オリンピックに見る自転車の進化展（仮称)」が実施されます。

1964年東京オリンピックから約半世紀後の2020年オリンピックの間にどんなに素晴らしく自転車が進化したのかをテーマに、東京オリンピックで使われたロードレーサー、現在最も進化したロードレーサー等約10台が展示されます。

・開催日時：2月4日（火）10：00～12：00
・開催場所：自転車博物館 1階多目的ホール
・講　　師：自転車博物館　長谷部事務局長
・受講対象：自転車博物館配置に就いておられる方。関心をお持ちの方

※申込方法：2月度活動予定表の行事予定表に「○」を付けて下さい。
参加人員は25名を予定していますので、多い場合は調整します。
当日参加の方は、制服・名札着用を。

★「全体部会」を12月13日（金）に行いました

※下記は、各定点の11月の「日誌」から抜粋したものを掲載しています。

〔Aグループ（川上由)〕

＊ 大仙拝所前（担当：重永・江川信・福島）

・拝所前での定点ガイド実績が、10月に続き11月も1万人を超え、10,466人でした。月間の1日平均ガイド数は342人、土曜日が426人、日・祝が570人でした。
・仁徳天皇陵古墳を上から見たいと言われるお客様には、堺市では気球を上げることが検討されているとご案内すると納得されていました。
・すでに仕事をリタイアされた人達15名が古市から大泉緑地を経由してウォーキングで拝所前まで来られました。まだまだ元気いっぱいの感じでした。

＊ さかい利晶の杜（担当：松村・柳）

・福岡からの70歳男性。「堺」という姓の方で先祖は安土桃山時代に佐賀へ移動した堺の商人で福岡県に居つき名字を「堺」としたという堺さん。
・観光ガイドブックを持った東京からのお客様が「東京で竹内街道の講演があり、それを聞いて来た」との事で堺に詳しかったです。

・鹿児島の 91 才の女性が息子さん夫婦と来られました。歴史年表をじっくり見ておられたので声を掛けました。百舌鳥駅から仁徳天皇陵古墳を見てここまで歩いて来たと聞きビックリしました。健康の秘訣は歩くこと、新しいことに興味を持つこと、人と接することだそうです。

＊ 千利休屋敷跡（担当：辻・大北）

・お客様から、15 分程時間があるので何処か行くところあるかと聞かれたので、チンチン電車を見るのはどうでしょうかと案内すると喜んで行かれました。
・小学生の女の子。歴史好きで金毛閣の事も利休像の話も知っていた。井戸水が生きているのはうれしい！と。

＊ 山口家住宅（担当：今村・西岡英）

・11 月 16 日（土）～17 日（日）は関西文化の日で入館料無料。地元の方もこの機会にと多数来館されました。両日のガイド数は 119 人。団体は尼崎からの 21 人 1 組で、ほとんどが個人のお客様でした。
・沖縄から自転車博物館のフェイスブックを見て来たというお母さんと若い女の子。
仲良く写真を撮っていました。ミニベロ（タイヤの径の小さい自転車）で堺を回っているとのこと。

※土間からの上り口にスノコを置いてます。ブーツをはいたお客様用です。

＊ 清学院（担当：澤井・古川）

・奈良県からの男性。「清学院」というと学問所のような所かと思っていました。修験道の道場と聞いてびっくりしましたと言われました。
・ネパールから来られた方は、興味深く河口慧海の話を聞いておられた。
・名古屋からのご夫婦。昨日は古墳めぐり、今日は午後利晶の杜で、3 時間がかりでやっと清学院に着いた。今から山口家住宅に行く。堺県の話をしたら、県庁として使用された本願寺別院も見たいなぁ！

〔 Bグループ（上野　数男）〕

＊ 堺市役所 21 階展望ロビー（担当：平野・南野）

・大阪でボランティア活動をしている発明クラブの女性たちが製作した〝動くハニワ〞が世界文化遺産にちなみ大阪大会に出品し優勝、全国大会に出られるとの事です。
・文化財公開の時、3 日間チンチン電車に乗った時に説明してくれたボランティアさんの説明が大変よかった。今度、展望ロビーでお会いしたら写真をあげたいと言われていた。

＊ 南宗寺（担当：中西慎・澤野・大橋）

・奈良広陵町からの女性に、喜多見若狭守勝重が堺の前に大和高田の奉行で南郷池や社会事業に尽くされ、広陵町の民話にも出てくると紹介。「一度調べてみます」と言われた。
・北摂から団体 8 名が来られ一人の方が「何度も知人を連れてきている。堺は素晴らしい、大好き」と云って下さった。
・40 年振りに里帰りの男性。奥様の一周忌に来られ懐かしそうに枯山水で寛がれていました。

＊ 妙國寺（担当：小出・箕野）

・横浜からの女性。枯山水庭園はエキゾチックな感じ、資料室の南蛮花瓶は初めて見た。
　⇒ 三好之康公（義賢、三好実休）寄進

・信貴山でアルバイトをしていた人が拝観。資料室の加藤清正の宝剣のコメントにある信貴山縁起絵巻で話が盛り上がった。
　⇒平安時代に残されている絵で、信貴山より都へ沢山の剣を鎧にした童子（剣の護法）が、空を飛び、転輪聖王の金輪を転がし、後ろに飛行機雲のような細長い雲を残して、醍醐天皇いる清涼殿に現れ病を治した話は有名で、絵に描かれている剣と同じく、この時代で見られる剣の姿です。

・大阪からの団体 16 人。このメンバーの中に、土佐藩の堺事件で 19 番目の籤を引いた垣内氏の子孫がいて、自宅に在った「堺事件に係わったと書かれたもの」に名前があったと聞かされていたそうです。

＊ 堺伝統産業会館（担当：奥野）

・大阪から昆布を買いに来られた男性。熱心に堺の伝統産業の話を聞いておられた。

・アメリカ男性 1 人と台湾男性 3 人。アメリカの方は以前に当館で包丁を買ったとのことで今も毎日使っているがよく切れるので、堺の包丁は世界で一番だと言ってくれました。今日は友人も包丁を買う予定とのこと。

＊ 自転車博物館（担当：大橋・溝）

・女性 3 人連れ。1 人はイギリス人で「オーディナリー型自転車は日本では何と呼ばれていますか」との質問に「ダルマ型」と答えると「イギリスではペニーファージングと言います」と言って同行の女性に「500 円と 1 円で 501 円型ね！」と説明し笑って居られた。また、「父はこのクラシック自転車（ペニーファージング）のチャンピオンだった」とも話されていた。

広報部 ニュース

☆ 2019 年度「公開講演会」の開催

・「公開講演会」を、3 月 18 日（水）にフェニーチェ堺・小ホールで開催。

・詳細は、２月号のニュースとホームページで案内、チラシも同封します。

☆ 協会ニュース「季刊誌　冬篇」の発行

・「季刊誌　冬篇」は、2020 年 2 月に発行予定

☆ 協会のパンフレット（リーフレット）改訂版が出来上がります

・協会の紹介用パンフレットが、2020 年 1 月に出来上がります。
　以前からあったものをリニューアルし、各定点と協会活動を紹介しています。

《インフォメーション》

◇ 語学同好会のご案内

“百舌鳥・古市古墳群”が世界文化遺産に登録により、大勢の外国の方が来堺されています、堺のまちを紹介しましょう!

会の名称	開催日	開催時間	開 催 場 所
・英会話サークル	1月 8日 (水)	14：00	堺市立国際交流プラザ6階会議室
・韓国語同好会	1月 9日 (木)	13：30	堺市立国際交流プラザ6階会議室
・中国語同好会	1月 16日 (木)	9：45	堺市立国際交流プラザ5階小会議室

※ 上記サークルに参加希望の当協会員は、直接、会場で申し込みください。

☆ 先輩の方も新入会の皆さんも、奮って参加ください！

◇ Ｊ：ＣＯＭ堺「堺シティレポ」１月の放送予定

・1月のＪ:ＣＯＭ堺の「堺シティレポ」放送予定（堺市広報部より）。

・放送された場所に行く方法や概要などに注意を。

・『Ｊ：ＣＯＭ堺　11チャンネル　15時00分～15時15分、22時15分～22時30分』。

※ 特別番組などで放送時間・内容を変更・休止する場合あり。

過去の番組は、市ホームページにも掲載あり。(一部を除く)。

≪2020年（令和2年）１月分≫

放 送 日	番 組 名
1月3日（金）まで	古代のロマンにふれる　百舌鳥古墳群
4日(土)　～　10日(金)	誰もが安心して暮らせるまち堺へ
11日(土)　～　17日(金)	芸術文化の感動と喜びを～フェニーチェ堺
18日(土)　～　24日(金)	百舌鳥・古市古墳群　世界遺産登録決定
25日(土)　～　31日(金)	古墳と自転車のまち堺の魅力を体験

※ 最新の番組名は、堺市ホームページ内「堺シティレポ」のページをご覧ください。

http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/koho/koho/sakai_city_repo/index.html

《ガイド便利ＭＥＭＯ》

◇ 施設の１月の休館日(休園日)について

・山口家住宅・清学院	(休館：毎週火曜日)	1～3日・7日・14日・21日・28日
・堺アルフォンス ミュシャ館	(休館：毎週月曜日)	1～4日・6日・14～16日・20日・27日
・日本庭園	(休館：毎週月曜日)	1～3日・6日・14日・20日・27日
・堺市博物館・伸庵	(休館：毎週月曜日)	1～4日・6日・20日・27日
※ ＶＲツアー・古墳シアターは、20日・27日は観覧できます。		
・みはら歴史博物館	(休館：毎週月曜日)	1～3日・6日・14日・20日・27日
・自転車博物館	(休館：毎週月曜日)	1～4日・6日・14日・20日・27日
・堺伝統産業会館	無休（但し、年始1～3日は休館）	
・さかい利晶の杜	1～3日休館・21日（毎月第3火曜日）観光案内展示室のみ観覧可	

《 あ・ら・かると 1 同期会勉強会の報告 》

＊２３期 プーさんの会

【 田辺 謙二 】

私達23期（プーさんの会）のメンバーは入会時13名でしたが、現在は11名に減っております。しかし、皆、協会活動に精を出しています。入会後これまでに京都大徳寺や奈良二上山、神戸五色塚古墳等を散策したり、堺市南区の歴史資産を探索して見聞を広めてきました。また、足を使わずとも福祉会館の研修室で、百舌鳥古墳群の知見を深めるといった勉強をしております。

長持形石棺前でレクチャー

令和元年２回目の勉強会として、行楽のシーズン10月中頃に髙砂市の「石の宝殿、竜山石」散策を９名参加で計画を立てました。しかし、計画立案者の日頃の精進不足からか降雨による延期になり、漸く12月11日に実行できました。２ケ月のスケジュール変更は参加予定者に新たな都合を生じさせ、およそ半数の５名でのハイキングになってしまいました。尤も来春実施の提案もありましたが、この度の勉強会は、高砂市教育委員会の文化財係長から、午後の３時間ほどレクチャーを受けられるという幸運な機会を頂戴した関係で、極力間を置かないで実行する必要がありました。

ＪＲ宝殿駅に降り立ち、国道２号線沿いのうどん屋にて早い昼食をお腹に入れ、早速高砂市教育委員会が入っている教育センターに向かいました。教育センター前には、流石に竜山石の産地故でしょうか、長さ１ｍほどの「長持形石棺」が展示されており、文化財係長のＳさんと面会するまでの10分間ほど、あれやこれやと、互いに多くはない蘊蓄（ｳﾝﾁｸ）を傾けあいました。

石の宝殿

それから、愈々「石の宝殿」のある生石（ｵｲｼｺ）神社に向かい、古くから３大奇岩の一つと言われてきた１辺５ｍ以上もある直方体状の巨岩（推定重量465ﾄﾝ）を見せて頂きました。どういう目的で作られたのか、作られたものをどのように運ぼうとしていたのか等、種々の研究が為されてもなお40説以上もあるそうですが、確かに間近に見るほどに謎が深まるばかりでしたし、古来から「石の宝殿」として神格化、信仰の対象となっていることも、ある程度納得がいったものです。

竜山石採石場

「石の宝殿」も含め、この地域の石は竜山石と呼ばれる凝灰岩であり、古墳時代には石室や石棺の石材に、古代には宮都の礎石、中世以降も石造物などに使用されるなど、1700年間にわたり採石され続けているのですが、私たちはＳさんのご案内を受けながら、採石場を眼下に見渡せる竜山の稜線を歩かせて頂きました。途中、両サイドが絶壁になっている稜線を不安な気持ちで歩いたり、岩盤を細かく削り取るために打ったと言われている無数の矢穴の跡のある岩を見せて頂いたり、「観・濤・處（ｶﾝ・ﾄｳ・ｼｮ）」と刻印されている岩の前で集合写真をとったりと、採石場の荒々しい風景をすっかり堪能したところで、山を下りる時間になりました。Ｓさんには十分過ぎる案内をして頂いて、一同、感謝の気持ちで一杯になりました。

同期会メンバーの数人は残念ながら鑑賞できなかったのですが、計画書は残っております。宝殿も竜山もそこにありますので、機会を得て是非訪問して欲しいと思っています。

《 あ・ら・かると ２ 》

＊ガイドの豆知識 12　　関ケ原の戦いとリーフデ号　　【 山田 武彦 】

「利晶の杜」の総合受付を通って「千利休茶の湯館」に入りますと、先ず目にするのがオランダ船リーフデ号です。よく観察してください、商船には不必要な大砲が見えますね。なにかしら場違いな船が置いてあるように見えますが、それが場違いではないのです。

それもそのはず、この船の活躍していた時代は「大航海時代」と言って、15 世紀におけるポルトガルとスペインの海外進出を先鞭とし、16 世紀後半には、両国に加えてイギリス・オランダ・フランスなどが、非ヨーロッパ世界における領土獲得と、植民地交易をめぐって覇権を争っていた時代なのです。時代は少し後になるが、1620 年にオランダとイギリスは平戸で両国の防護同盟を締結したり、言わばアジアの海は海賊の跋扈（ばっこ）する世界だったのです。

それはさておき、リーフデ号はオランダから日本にやってきた最初の船なのです。しかもマゼラン海峡を越えて太平洋に抜けて、豊後の国にヨレヨレで漂着したのですが、その報告を受けた徳川家康は、この船をいち早く堺の港に回航させ積荷を調べると、（一説には）鉄砲 500 挺、銃弾５千発、火薬 2270 キロ、その他多くの武器があったといわれています。これが西暦 1600 年の春頃の話、この年の秋には「関ヶ原の戦い」です。

誰が考えても「関ヶ原の戦い」では、これらの武器が使われたものと思いますよね。ところが今まで詳細は明らかになっていないのです。「歴史家・平川新」の説であるが「この大量の武器と弾薬を確保したことで、家康は関ケ原の戦いに勝つことができたのである」とまで言わしめているのに、ですよ。これを機に日本はオランダとの貿易関係を強めていくのであるが、そのことも言わない。また、このオランダ船リーフデ号に乗っていた、イギリス人航海士ウイリアム・アダムス（日本名：三浦按針―みうらあんじん）や、オランダ人のヤン・ヨーステンを貿易や外交のアドバイザーとして召し抱えたのです。

これらのことは、今の私たちが【江戸時代の歴史観】に大きく影響されているように思います。江戸時代の歴史観における最大の問題は、【戦国時代史から外国とのつながりを取り除いたこと】です。江戸時代は鎖国中なので、昔から外国との関係はなかったことにして、すべて国内の問題として扱おうとするのです。言い換えるなら、すべての為政者の事績を、国内の農業型の為政者を語るような話にしてしまうのです。極論からすれば「この世界に日本以外に国というものがない」という風に教育されていたからです。

ですから、【大航海時代】を語らずに、この時代を語るところに無理が生じるのです。

次回は「大航海時代」のことをもう少し詳しく述べることにしましょう、お楽しみに。

参考文献

戦国日本と大航海時代	平川 新	中央公論新社
白熱の信長対談	小泉純一郎×安部龍太郎	文春 2018 年 12 月号
作られた史観	安部龍太郎	紫野 第 43 号

《トピックス 1》

＊鉄砲鍛冶屋敷井上関右衛門・愛媛 大洲との366年の絆 大洲史談会来訪 【 土井 健一 】

我々観光ボランティア協会の有志が井上家・堺市と供に、大洲を訪れてから早や５年３ヶ月が経ちました。この度11月25日に大洲市文化団体大洲史談会御一行と、大洲市博物館学芸員が堺の鉄砲鍛冶屋敷を表敬訪問しました。井上家ご先祖の井上八兵衛が、承応２年に大洲二代目藩主加藤泰興公より、「今後、井上関右衛門を名乗り、堺で“鉄砲鍛冶を業となせ”」と命じられて以後、366年が経ちます。

史談会一行は、バスで大洲を早朝７時に発ち、午後には堺市役所へ到着、当協会員３名が展望ロビーと仁徳天皇陵拝所を案内しました。その後、鉄砲鍛冶屋敷を訪問され、井上家当主修一氏、弟俊二氏と、堺市、関西大学の関係者が出迎えました。40数名の訪問者を井上俊二氏と私が建物や文化財などをご案内した後は、奥の新座敷でお茶を飲みながら歓談をして過ごしました。

元はと言えば、５年前の大洲市訪問がきっかけとなり、堺市による井上家鉄砲鍛冶屋敷の調査が始まったのです。調査は当初、堺市、井上家に私も加わって行なっていましたが、調査を早く進める為、観ボラ有志の協力を得るようになりました。思いがけない大量の古文書類が発見され、その後調査研究に、関西大学名誉教授・藪田貫氏の協力を頂いています。関西大学・堺市の共同研究で、従来の江戸期以降の鉄砲史を変える大発見があったのは、皆さんご存知の通りです。今回の大洲史談会の訪問は、朝日新聞などの報道機関も取材し、とても興味深い報道をしています。大洲史談会会長今井要氏・柿見喜久氏も「大洲のゆかりの物が大切にされているのを見て、たいへん感激した」と話していました。

熱い絆で結ばれている大洲と井上家、今後、堺市と大洲市が友好姉妹都市となればと願い、名残惜しい中、宿のある大津へ出立されました。出来ますれば私も機会を頂き、再び大洲を訪問したいと考えています。

《トピックス　２》

＊会員交流会(神戸コース)　　【 生島　英造 】

11月28日、2019年度会員交流会第1弾神戸コースに参加しました。バス1台34名の参加で8時30分市民広場を出発、川上理事長の挨拶に続き研修部員の行程説明と班分けが行われ、予定通り（当初は湾岸線通行止による若干の遅れを憂慮）10時前に「人と防災未来センター」に到着しました。今回も以前の交流会と異なり、訪問先との交流はなく、訪問施設での説明を聞きながら私達参加会員同士の交流をはかる新しい試みと聞きました。

このセンターは、あの悪夢のような1995年1月17日の「阪神・淡路大震災」から防災を学ぶ為に建てられたもので、震災追体験フロア　➡　震災の記憶を残すフロア　➡　防災・減災体験フロアと案内を受け、今後の10年以内に高い確率で発生が予想される南海トラフ地震への警告と覚悟を再確認させられました。昼食は館内レストランで美味しい洋風弁当とコーヒーを食しながら会員の方々との歓談で一息つき、神戸市役所24階展望ロビーの見学にむかいました。同所では、班ごとに「タウンガイドKOBE24」のガイドさんがつき、明治以降の神戸の発展の歴史を交えながら、堺の見える側、山側と場所変えながら，わかりやすく説明を聞きました。

旧外国人居留地では、堺事件に先立って発生した神戸事件で伊藤博文がその解決に大いに貢献された事から、その名前が旧居留地内の通りに残っているとか、明治維新時、開港地を決める際、堺も候補にあがっていたが、天皇陵が控えているので外されたことを教えて頂きましたが、同じガイドとして、学ぶべき点が多々ありました。堺市の展望ロビーは、東西南北すべて開放されていること、又案内内容も、豊富な歴史に裏づけされている事から改めてその素晴らしさを再認識しました。

引き続きバスに乗って新神戸駅で下車、徒歩5分、外からも木の香りが漂う「竹中大工道具館」を訪問しました。同館は竹中工務店創立85周年を記念して開館した日本で唯一の大工道具の博物館で、2014年に現在場所に移転したものです。各班毎にガイドさんより約90分間（私には少々きつかったが)、7つのコーナーに分かれた展示を通して、大工道具の歴史や種類、仕組み等を説明していただきました。日本古来の伝統木造建築の素晴らしさ、又その技術の伝統を現在に伝えている、宮大工の棟梁の役割の偉大さを法隆寺、薬師寺等を再建した西岡棟梁の話などから感じました。

かなり疲れたところで、最後のコースとして北野工房のまち（旧北野小学校校舎を改造活用）に立ち寄り休憩，買い物の後、帰路につきました。帰りのバスの中での会員の方々の感想では、「当初はあまり期待していなかったが、なかなかよかった。」が多く、私も全く同感で、今回のコースを企画された研修部の幹事の皆様に厚くお礼申しあげます。

≪イベント・報告≫

＊竹内街道・横大路まつり　IN　SAKAI　　【 川上　由 】

大阪府と奈良県を東西に結ぶ竹内街道・横大路は、日本最古の官道と呼ばれ、2017 年には文化庁から「日本遺産」に認定されました。その沿道の自治体が一体となり、様々な活性化事業を展開しています。12 月 21 日(土)は、この沿道自治体が堺市に集結して、2019 年度最大のイベントが行われました。

会場は、Mina さかい(市役所前広場)と庁舎が利用され、本館１階エントランスホール特設ステージでは、堺市の各団体のミニライブ、ダンス、ミニコンサート等が行われ、さらに和太鼓や泉州のご当地アイドル Culumi のライブ、吉本芸人のなだぎ武さんのお笑いがステージを盛り上げてくれました。Mina さかいでは竹内街道沿道の 10 市町村のグルメや土産グッズの販売がずらっと並びました。また、市役所本館３階大会議室では歴史講演会が行われ、たくさんの参加者で賑わいました。

観光ボランティア協会の担当は、高層館１階ロビーでの「おもてなし呈茶」が「茶々の会」のメンバーで実施されました。11 時からのスタートでしたが、10 時前にはすでに行列ができ、一日中大勢の方々が呈茶を楽しまれていました。

21 階展望ロビーからスタートのミニガイドツアーも、勿論、我々観ボラの担当です。題して「竹内街道と堺の歴史を巡る」というテーマで、竹内街道、西高野街道から、けやき通り、旧天王貯水池、方違神社、反正天皇陵のコースでお客様をご案内しました。堺の方がほとんどでしたが、竹内街道の標柱石を見ながらガイドの説明に聞き入り、旧天王貯水池や方違神社の歴史を聞いて、改めて堺の歴史の深さに感動された様子でした。

今年は堺市がこの竹内街道・横大路まつりを担当しましたが、世界遺産登録の年ということで、最高のタイミングでの開催となり、おおいに盛り上がった一日でした。

高層館１階は、お茶の香りの中でほっこり

☆ ２０２０年（令和２年）1月度 月間予定表

日	曜	行　　事	時 間	場　　所
1	水	≪ 活動休止 ≫		
2	木			
3	金			
6	月	定点ガイド部 Ａグループ会議	9:45	堺市総合福祉会館
		運営委員会	14:00	堺市総合福祉会館 第3会議室
7	火	定点ガイド部 Ｂグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
9	木	ツアーガイド部会議	13:30	堺市総合福祉会館
10	金	定点ガイド部 全体会議（見学可）	9:30	堺市総合福祉会館
		企画部会議（見学可）	10:00	堺市総合福祉会館 第4会議室
11	土	ＪＡ堺市「ＣＲＯＰ」取材（西区浜寺船尾町）	9:30	阪堺線「船尾駅」集合
12	日	「１月の自転車ツアー（堺の10社初詣めぐり）］	9:00	堺駅観光案内所
13	月	「さかい利晶の杜　定例会議」	16:00	さかい利晶の杜
14	火	「広域連携歴史探訪ガイドウォーク実行委員会」	13:30	大阪狭山市 市民活動支援ｾﾝﾀｰ
15	水	≪ 2020年　新年会 ≫	12:00	アゴーラリージェンシー堺
★ 15日（水）〈協会ニュース 2020年2月号〉原稿締切　（広報部へ）				
16	木	研修部会議（見学可）	14:00	堺市総合福祉会館
		広報部会議（見学可）	14:00	堺市総合福祉会館
17	金	「春の文化財特別公開 打合せ」	10:00	堺観光コンベンション協会
		総務部会議（見学可）	10:00	堺市総合福祉会館
		事業部会議（見学可）	14:00	山之口プラザ
19	日	「第35回堺新発見ツアー(南区福徳寺 大護摩祈願祭)	10:00	泉北高速線「泉ヶ丘駅」改札前
20	月	定例部長会	9:30	堺市総合福祉会館 第4会議室
		ＪＡ堺市「ＣＲＯＰ」編集会議（西区浜寺船尾町）	14:00	山之口プラザ
21	火	「堺観光情報連絡会」	10:00	堺市役所2階
22	水	「マナー研修会（ガイドのマナーのあり方）」	14:00	東洋ビル ４階7号室
23	木	「29期生対象まち歩き 3回目」	9:30	堺伝統産業会館前
25	土	＜協会ニュース ２月号＞ 発行作業	10:00	観ボラ・オフィス
28	火	「29期生フォローアップ研修」	14:00	堺市総合福祉会館
29	水	「28・29期生対象 阪堺電車勉強会」	9:30	阪堺線「大和川駅」

【 予告 】

・全体研修会［鉄砲鍛冶屋敷］／2月13日（木）／10時～と14時～の2回／フェニーチェ堺

・公開講演会／3月15日（水）／13時30分～16時／フェニーチェ堺

2019年11月度　活動実績と内容

＜会員の活動実績＞

	正会員数	250 名
	当月全休会員数	14 名
会員活動参加数		236 名

定点案内所	定点案内所	882 名
	事務局・ガイド事務	177 名
	展望ロビー・学童ガイド	9 名
ガイド活動小計		1,068 名
ツアーガイド		328 名
その他	会議・研修会・勉強会	78 名
	イベント	535 名
	打合せほか	348 名
会員活動合計		2,357 名

月/日	その他活動の主な内容	活動人員
11/1~4	堺秋季文化財特別公開（11寺社・施設ほか）のガイド、ミニガイド・呈茶など ： ガイドなどのお客さま数 13,009名	535 名
5~18	堺秋季文化財特別公開の関係(報告会ほか)	55 名
5	理事会・運営委員会　於：総合福祉会館	24 名
18	協会の部長会議（正副理事長と各部長）	12 名
19	観光情報連絡会　於：市役所	9 名
28	会員交流会(神戸コース)	33 名
	案内所ガイド以外の主な活動　計	668 名

＜来客数実績＞

			(件数)
定点案内所ガイド			
	市役所展望ロビー		
		一般	7,934 名
		学童・先生	284 名	4
	大仙拝所前		14,959 名
	南宗寺		1,671 名
	山口家		1,301 名
	清学院		781 名
	利休屋敷跡		3,538 名
	妙國寺		538 名
	自転車博物館		548 名
	伝統産業会館		2,138 名
	利晶の杜		3,699 名
	ミニガイド		-- 名
ツアー観光ガイド			
	ツアー観光ガイド	6,137 名	201
特別公開など			
	秋季特別公開	13,009 名	
＊ご案内人数合計		56,537 名	
2019年度のご案内人数 合計		230,268 名	
＊＊当協会の創設（平成7年4月）以来のご案内人数累計		2,503 千名	

＊　月間ご案内人数の新記録 ： 56，537人
（過去最高 ： 2016年11月　40，131人）

＊＊　創設以来のご案内人数 ： 250万人達成
（200万人達成は ： 2018年1月）

≪スポット≫

12月の自転車ツアーで、お客様へのご案内終了とともに、取材陣の方が重い三脚、カメラ等を持って来られました。お客様２名がしっかりとインタービューに答えていました。１度目で終了かと思いましたが、テイク２となり、お客様は役者と思われるくらい丁寧に答えていました。その後は私を含め出発のシーン撮影で終了しました。古墳群を見て回ることができ、自転車ならではの充実した半日ツアーでした。（柴田　友宏）

この様子がテレビ放映されます

タイトル　：　堺シティレポ（ＪＣＯＭ堺局１１チャンネル）
放映予定　：　2020年２月に１日２回放映。（15：00～、22：15～）

編集後記

令和元年となった昨年は、5月1日に徳仁さまが新天皇に即位され、日本にとって節目の年になりました。また7月6日には、百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産に登録決定し、堺市は大きな喜びに包まれた一年でした。

今年、令和2年（2020）は7月24日に東京オリンピック、8月25日から東京パラリンピックの開催が予定されています。古代オリンピック最盛期には、ギリシャ世界各国から選手が参加し、大会の期間およびそれに先立つ移動の期間、合計3ヶ月ほどをオリュンピア祭のために、戦争中の国も休戦したそうです。オリンピックが平和の祭典と言われるのは、こんなところにも理由があるのかもしれません。今年の東京オリンピック開催中は、平和への願いを込めて日本人選手はもちろん、力いっぱい頑張る全てのアスリートを応援したいと思います。（和田　千香）